

日本広告学会
第50回全国大会ご案内
[大会プログラム・大会参加申し込み方法]

大会統一論題
広告研究はどこに向かうのか？
—広告教育、広告実務との相互関係—

日本広告学会第50回全国大会
千葉商科大学 市川キャンパス
2019年11月15日（金）～17日（日）
大会運営委員長 千葉商科大学 松本大吾
大会運営委員会事務局 千葉商科大学 サービス創造学部 松本大吾研究室内
〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1
047-373-4221（研究室直通）jaa2019@cuc.ac.jp

ご挨拶

2019年11月15日（金）から17日（日）までの3日間の日程で、日本広告学会第50回全国大会を千葉商科大学で開催いたします。学会創立50周年の節目となる大会を本学で開催できることを光栄に思います。

統一論題は「広告研究はどこに向かうのか？—広告教育、広告実務との相互関係—」です。創立当時の問題意識に立ち戻り、現在までの日本における広告研究が蓄積してきたものを振り返りたいと思います。そのうえで、今後、我々広告研究者が進むべき方向性を議論していきます。広告研究に新風を吹き込む大会になるよう最善を尽くす所存です。

千葉商科大学は、都内の主要エリアや空港からのアクセスが良く、閑静で落ち着いた場所に位置しています。多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

今回も全国大会を開催するにあたり、公益財団法人吉田秀雄記念事業財団、公益社団法人日本アドバタイザーズ協会にご支援賜りましたこと、厚く御礼申し上げます。

日本広告学会 第50回（2019年度）全国大会
大会運営委員長 松本大吾
（千葉商科大学 サービス創造学部）

1. 大会統一論題（大会テーマ）

広告研究はどこに向かうのか？—広告教育、広告実務との相互関係—

日本広告学会は、世界における広告研究の進展、大学における広告関連講座設置の広がり、産業界での広告への関心の高まりを背景に、関連諸学会及び産業界の研究者が議論できる場として1969年に創立された。創立趣意にも記されているように、広告学会の独自性は、多角的・学際的アプローチの志向と、産業界との繋がりへの意識にある。こうした意識のもとで「マーケティングの一環としての広告の研究」にとどまらない、「広告そのもの」に焦点をあてた各分野からの総合的研究が志向された。

2019年の今年、学会創立から50年が経つ。この間、創立趣意に関して、どこまで議論が進んだのだろうか。特に、2000年代以降の情報環境の変化に伴い、広告産業構造は大きく変化した。同時に、広告そのものに対する考え方も大きく変化している。改めて、学会創立時の問題意識に立ち戻り、広告研究、広告教育、広告実務の現状を確認し、これから広告研究者が取り組むべき課題を共有したい。具体的には、学術的研究としての視点、産学連携の視点、大学及び実務での広告教育の視点から議論する。それをもって、今後、広告研究がどこに向かうのかを考えたい。

2. 日程 2019年11月15日（金）～11月17日（日）

- ・15日（金）各種委員会、理事会
- ・16日（土）会長講演、基調講演、シンポジウム、会員総会、懇親会
- ・17日（日）国際学会参加報告、プロジェクト研究報告、ワークショップ、自由論題報告

3. 会場と交通アクセス

・千葉商科大学 市川キャンパス 7号館（主会場）

JR 総武線 市川駅下車 徒歩約 20 分、または、京成線 国府台駅下車 徒歩約 10 分

※市川駅からはバス利用が便利です。市川駅前京成バス 1 番乗場から松戸駅行、

または松戸営業所行に乗り、約 10 分 和洋女子大前下車 本学正門まで徒歩 3 分です。

注意：会場近辺（東京駅周辺、秋葉原、錦糸町など）には、ビジネスホテルが数多くあります。

近年、都内のホテルも予約しにくくなっておりますので、お早めにご手配ください。

11 月 16 日（土）は、JR 山手線、京浜東北線の一部区間での運休が予定されております。

特に、新幹線等ご利用の方は運行情報をお確かめの上、ご来場ください。

4. 会長講演・基調講演・シンポジウム

会長講演

「日本の広告教育はどこから来て何を目指すのか」

講演者 嶋村 和恵 （日本広告学会会長／早稲田大学）

基調講演 1

「デジタルシフトに立ち向かう。広告主の『これまでとこれから』」

講演者 小出 誠 氏 （公益社団法人 日本アドバイザーズ協会 常務理事）

〈略歴〉

1984 年資生堂入社。大阪の営業部門、商品開発部を経て、宣伝部にてプリント媒体の出稿、イベントを担当。その後、経営企画部にて本社ビル建て替えとグローバル総本店新設を含む「銀座再開発プロジェクト」と企業サイトの運営を担当したのち、2014 年 4 月よりコミュニケーション統括部長。2018 年 1 月より資生堂ジャパン(株)メディア統括部長として、マスからデジタルの広告出稿と PR を統括。2019 年 1 月よりメディア統括部エグゼクティブマネージャー、日本アドバイザーズ協会常務理事。

基調講演 2

「『広告』はどこまで拡張できるか ―広告実務の変化と未来―」

講演者 安藤 元博 氏 （株式会社 博報堂 執行役員 エグゼクティブマーケティングディレクター）

〈略歴〉

株式会社博報堂 DY メディアパートナーズ執行役員、デジタル・アドバイジング・コンソーシアム株式会社取締役。1988 年博報堂入社。ACC（グランプリ）他受賞多数。著書『マーケティング立国ニッポンへ』（共著）等。東京大学大学院学際情報学府修了。

シンポジウム

「広告研究はどこに向かうのか？ ―広告教育、広告実務との相互関係―」

パネリスト：岸 志津江（東京経済大学）、田中 洋（中央大学）、石崎 徹（専修大学）

司会者：広瀬 盛一（東京富士大学）

5. 大会プログラム

11月15日（金）各種委員会、理事会	
13:30~	会場案内 研究館1階ラウンジ
14:00~16:00	部会運営委員会（関東・中部・関西・九州）：図書館 5階 大会議場 研究プロジェクト委員会：図書館 4階 L4会議室 学会賞委員会：図書館 3階 L3会議室 広報・学術交流委員会：研究館 5階 R5会議室 論集編集委員会：研究館 3階 R3会議室 クリエイティブ委員会：1号館 2階 1206教室 デジタルシフト研究委員会：1号館 2階 1207教室
16:00~18:00	理事会 図書館 5 階 大会議場

※各委員会の詳細については各委員長にご確認ください。

11月16日（土）統一論題報告、会員総会 会場：7号館702教室／懇親会 会場：The University DINING	
9:30~	受付 7号館 1階
10:00~10:05	開会挨拶（5分） 松本大吾（第50回全国大会運営委員長／千葉商科大学）
10:10~11:00	会長講演（50分） 「日本の広告教育はどこから来て何をを目指すのか」 嶋村和恵（日本広告学会会長／早稲田大学）
11:10~12:00	基調講演 1（50分） 「デジタルシフトに立ち向かう。広告主の『これまでとこれから』」 小出 誠 氏（公益社団法人 日本アドバタイザーズ協会 常務理事）
12:00~13:30	お昼休み（90分）
13:30~14:20	基調講演 2（50分） 「『広告』はどこまで拡張できるかー広告実務の変化と未来ー」 安藤 元博 氏（株式会社 博報堂 執行役員 エグゼクティブマーケティングディレクター）
14:30~16:00	シンポジウム（90分） 「広告研究はどこに向かうのか？ー広告教育、広告実務との相互関係ー」 パネリスト：岸志津江（東京経済大学）、田中洋（中央大学）、石崎徹（専修大学） 司会者：広瀬盛一（東京富士大学）
16:00~16:15	休憩（15分）
16:15~18:15	会員総会（120分）
18:30~20:30	懇親会（120分） The University DINING

11月17日（日）国際学会参加報告、研究プロジェクト報告、ワークショップ、自由論題報告 会場：7号館各教室			
8:30～	受付 7号館1階		
会場	7号館1階 711教室		
	司会：川村洋次（近畿大学）		
9:00～9:15	国際学会参加報告（15分） 武谷慧悟（駒澤大学）		
9:15～10:15	研究プロジェクト報告〈自由課題〉（60分） 購買意思決定の納得感と満足感を高める広告－消費者のメンタルシミュレーションに着目して－ 福田怜生（亜細亜大学）、赤松直樹（明治学院大学）、石井裕明（成蹊大学）、 外川拓（千葉商科大学）、松本大吾（千葉商科大学）		
10:15～10:45	研究プロジェクト報告〈萌芽研究〉（30分） 公共広告のデジタル化対応に関する日韓比較 山崎方義（愛知産業大学）、伊吹勇亮（京都産業大学）		
10:45～11:00	休憩（15分）		
会場	7号館1階 711教室	7号館2階 721教室	7号館3階 731教室
	自由論題報告（各30分）		
	司会：井上一郎（江戸川大学）	司会：嶋村和恵（早稲田大学）	司会：松隈久昭（大分大学）
11:00～11:30	安藤真澄（電通） メタ広告論の試み －広告を巡る多様な論考の 区分についての考察－	坂井直樹（日経広告研究所） メディア・フォロー行動と 情報価値意識の関係を考察する	岩出和也（名古屋学院大学） 情報化による訪問機運を醸成する 広告の多様化 ～事例の分類と効果測定にむけて～
11:30～12:00	小泉秀昭（立命館大学） 「有機体的広告論」序説 ～ホワイトヘッド「有機体の哲学」 の広告論への応用～	有馬賢治（立教大学） 松本大吾（千葉商科大学） 中野香織（駒澤大学） 消費者の公的自己意識が購買検討時にお ける外部情報源の使用に与える影響	大内秀二郎（近畿大学） 「ファンマーケティング」の 意義と限界に関する一考察： （株）ヤッホーブルーイングの事例から
12:00～12:30	谷口光子 （日本大学芸術学研究所） 現代アートの手法に重なる 広告コミュニケーション	松本大吾（千葉商科大学） 販売員の傾聴行動に対する 評価尺度の検討	唐沢龍也（関東学院大学） サステナビリティ・コミュニケーション 戦略の考察：ニュージーランド発のヘアケ ア・ブランドの事例研究より
12:30～13:30	お昼休み（60分）		
会場	7号館1階 711教室	7号館2階 721教室	7号館3階 731教室
	自由論題報告（各30分）		
	司会：水野由多加（関西大学）	司会：石崎徹（専修大学）	司会：伊吹勇亮（京都産業大学）
13:30～14:00	岡田庄生（法政大学大学院） ユーザー創造製品の発案者効果 ～オンライン実験による媒介分析～	田部溪哉（城西大学） ネイティブ広告の印象が 広告効果に及ぼす影響	水田 圭（秋田公立美術大学） 秋田地域における 広告関連企業の業態変化
14:00～14:30	勝野正博（東京大学大学院） プライバシーポリシーへの同意における 利用者と事業者のディスコミュニケーションについて	劉 玉婷（早稲田大学大学院） 字幕付き CM に対する消費者の知覚 ：認知欲求を用いた検討	尾上綾那（近畿大学） 平成の公営ギャンブルを 広告量から考える
14:30～15:00	村尾俊一（流通科学大学） マーケティングコミュニケーション戦略 のレビューボードに関する研究－アカウ ントプランニングの視点から－	熊倉広志（中央大学） ブランド選択に対する広告効果と その時間的变化	柳井猛晶 （東洋大学現代社会総合研究所） 組織ルーティンの観点をを用いた 広告主研究－事例として遊技産業－
会場	7号館1階 711教室		
15:05～15:25	ワークショップ（20分） 研究プロジェクトの概要と申請方法 川村洋次（近畿大学）、広瀬盛一（東京富士大学）		
会場	7号館1階 711教室		
15:25～15:35	閉会挨拶（10分） 日本広告学会 副会長 石崎徹（専修大学）		

6. 参加申し込み方法

(1) 正会員・名誉会員のお申し込み

この通信に同封されている「払込取扱票」を用いて、次ページの「大会参加費等」をご参照の上、該当する参加費等を払い込んでください。その際、「払込取扱票」の通信欄に明細をご記入ください。参加費の払い込みをもって参加登録の手続完了といたします。

11月5日(火)までに払い込みいただく場合と11月6日(水)以降に払い込みいただく場合で、参加費が異なりますのでご注意ください。また、11月6日(水)以降の払い込みの場合、名札等の用意が間に合わない可能性がございます。ご了承ください。

大学院生(博士前期課程、修士課程、博士後期課程、社会人大学院生を含む)の正会員は、参加費が割引になります。当日、必ず学生証を持参してください。

(2) 賛助会員のお申し込み

ご担当者は別紙「参加申込書」に必要事項を記入し、大会運営委員会事務局までメールでご提出ください。また、必要に応じて、同封の「払込取扱票」にて、参加者全員の懇親会費等の合計金額を払い込んでください。参加申込書の送付および懇親会費等の払い込みをもって参加登録の手続き完了といたします。

詳しくは、参加申込書裏面の「【賛助会員用】全国大会参加申し込み方法のご案内」をご覧ください。「参加申込書」のWordファイルが必要な方は、大会運営委員会事務局までお問い合わせください。

※賛助会員社にご所属の個人会員は、賛助会員の無料枠の適用はできません。個々に正会員・名誉会員としてお申し込みください。

(3) 非会員のお申し込み

大会運営委員会事務局までメールでご連絡ください。なお、非会員の参加費には事前割引が適用されません。学部生、会員家族は無料でご参加いただけますが、資料は有料です。

(4) 会費について

お振込みいただいた会費につきましては、いかなる理由であっても返金はいたしかねます。あらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

(5) 昼食について

16日(土)・17日(日)の昼食につきましては、**11月5日(火)まで**にお申し込みいただければ、昼食弁当をご用意いたします(1食1,000円)。必要な方は、大会参加費と併せて払い込みください。

大学周辺の飲食店は数が限られます。特に17日(日)は学食、生協が営業しておりません。近隣のコンビニエンスストアまでは徒歩で10分程度かかりますので、お弁当のお申し込みをお勧めいたします。

〈大会参加費等〉

11月5日（火）までに払い込みの場合

参加者の区分	大会参加費	懇親会費 (11/16土)	弁当代 (11/16土)	弁当代 (11/17日)	資料の追加 (1部あたり)
正会員・名誉会員	5,000円	5,000円	1,000円	1,000円	2,000円
正会員（大学院生）	2,500円				
賛助会員（1～3人）	無料				
賛助会員（4人目～）	5,000円				
非会員（一般）	7,500円				
非会員（学部生・会員家族）	無料				

11月6日（水）以降に払い込みの場合および当日受付

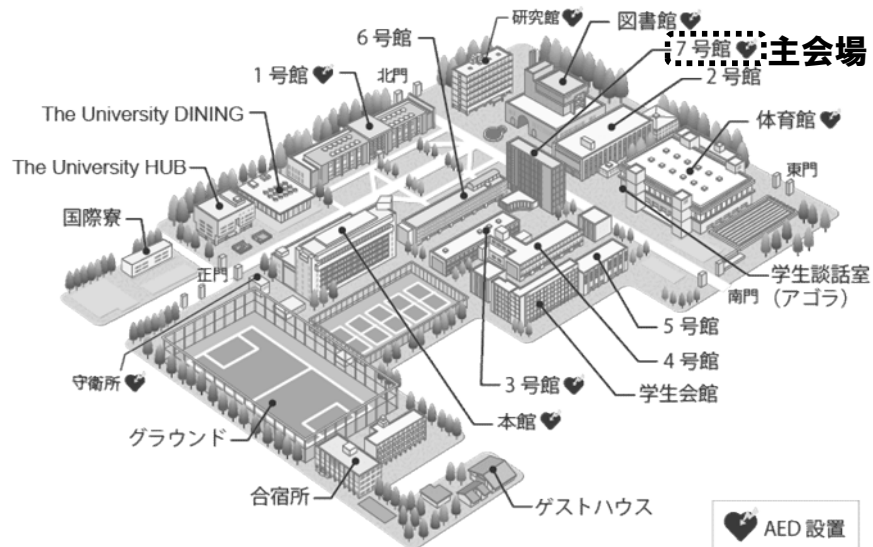
参加者の区分	大会参加費	懇親会費 (11/16土)	弁当代 (11/16土)	弁当代 (11/17日)	資料の追加 (1部あたり)
正会員・名誉会員	7,500円	5,000円	注文不可	注文不可	2,000円
正会員（大学院生）	3,500円				
賛助会員（1～3人）	無料				
賛助会員（4人目～）	7,500円				
非会員（一般）	7,500円				
非会員（学部生・会員家族）	無料				

※大学院生（博士前期課程、修士課程、博士後期課程、社会人大学院生を含む）の正会員は、参加費が割引になります。学生証の提示が条件となりますので、大会当日に必ず持参してください。

※賛助会員社にご所属の個人会員には、賛助会員の無料枠の適用はできません。個々に正会員・名誉会員としてお申し込みください。

※11月16日（土）、11月17日（日）の昼食弁当をご希望の場合には、11月5日（火）までに代金払い込みの上、お申し込みください（1食1,000円）。それ以降のご希望は、申し訳ありませんが対応できません。

7. キャンパスマップ



15 日（金）の各種委員会、理事会は正門から突き当たりまで直進した図書館棟で開催予定です。

16 日（土）・17 日（日）は、正門から突き当たりまで直進、右手側の 7 号館を主会場として開催予定です。

8. 会場内の写真・動画の撮影および SNS への投稿について

業務上必要な撮影や記念撮影等、会場内の様子を撮ることは妨げませんが、登壇者、報告者、他の参加者への配慮をお願いいたします。特に、SNS などインターネット上への投稿には十分に注意するよう、お願いいたします。ただし、本大会における、全ての講演者、報告者の提示資料（画面）の撮影は禁止いたします。

9. 第 50 回（2019 年度）全国大会運営委員会

大会運営委員

- ・委員長 松本大吾（千葉商科大学）
- ・副委員長 安藤和代（千葉商科大学）
- ・委員 石崎徹（専修大学）、広瀬盛一（東京富士大学）、宮澤薫（千葉商科大学）

大会実行委員 仁平京子（千葉商科大学）、外川拓（千葉商科大学）

事務局

千葉商科大学 サービス創造学部 松本大吾研究室内

住所：〒272-8512 千葉県市川市国府台 1－3－1

電話：047-373-4221（研究室直通）

E-mail：jaa2019@cuc.ac.jp

大会に関するお問い合わせは大会運営委員会事務局宛にお寄せください。

研究室を不在にすることが多いため、できる限りメールでご連絡ください。